

# Lesson 14 「国風文化と日本語」

～ Logical - 通史理解「日本史探究」疾風 Watabe 塾 ～

## 【東アジア諸国の変動と日本】

### ①東アジアの変動

- 内乱により唐が衰退し、907年に滅亡  
→ 五代十国の時代を経て960年〔1 **宋**〕が中国を統一
- 中国北東部では渤海が926年に遼（契丹）の侵入により滅亡
- 朝鮮半島では936年に〔2 **高麗**〕が新羅を滅ぼし朝鮮を統一

### ②遣唐使停止後の外交関係

- 894年〔3 **菅原道真**〕…遣唐大使に任ぜられていた…の建議により〔4 **遣唐使**〕停止  
→ 以後、朝廷は公的な外交使節は派遣せず、消極的な外交態度をとる
- 遣唐使停止後も外国商船は頻りに来航（博多湾）  
→ 貿易品は唐物として珍重され、奄然・成尋らの僧は宋に渡航

## 【国風文化の形成】

### ①国風文化の性格

- 大陸文化と日本文化の融合により、優美で繊細な貴族文化が誕生  
→ 10世紀～11世紀半ばの文化を〔5 **国風文化**〕とよぶ
- 〔6 **仮名文字**〕の定着により、日本人の感覚や感情の表現が可能となる

### ②国文学の発達

- 和歌…9世紀後半に**六歌仙**が登場し、漢詩文とならぶ地位を確立  
→〔7 **古今和歌集**〕を**紀貫之**らが編纂、以降の勅撰和歌集＝**八代集**
- 物語文学…『**竹取物語**』『**伊勢物語**』『**宇津保物語**』『**落窪物語**』などが登場  
→ 藤原道長の時代に**紫式部**が〔8 **源氏物語**〕を執筆
- 随筆…藤原道長の時代に**清少納言**が〔9 **枕草子**〕を執筆
- 日記文学…**紀貫之**が〔10 **土佐日記**〕で仮名使用の「日記」を執筆  
→ 以降、『**蜻蛉日記**』『**紫式部日記**』『**和泉式部日記**』『**更級日記**』などが登場
- 書道…和様の書風を得意とする**小野道風**・**藤原佐理**・**藤原行成**の3人は〔11 **三蹟**〕とされる

### ③建築と調度品

- 檜皮葺・白木造による〔12 **寝殿造**〕の住宅建築が定着
- 屏風や襖障子には、〔13 **巨勢金岡**〕らの手による**大和絵**が描かれる
- 調度品には漆で文様を描き、金粉などを用いた〔14 **蒔絵**〕の手法が流行

## 【仏教の浸透】

### ①浄土教の流行

- 1052年より末法の世となる思想＝〔15 **末法思想**〕が登場  
→ 極楽往生を願う〔16 **浄土教**〕が流行…浄土信仰の強まり  
＜**阿弥陀如来信仰**＞

- 10世紀なかごろには、京都市中で〔17 **空也**〕が布教活動
- 985年には〔18 **源信**〕が『**往生要集**』を著す
- 往生伝**も成立…『**日本往生極楽記**』…〔19 **慶滋保胤**〕  
『**拾遺往生伝**』…〔20 **三善為康**〕

### ②浄土教と仏教芸術

- 浄土教の影響で多くの阿弥陀堂が創建される  
→ **藤原道長**…〔21 **法成寺**〕  
**藤原頼通**…〔22 **平等院 鳳凰堂**〕
- 阿弥陀堂の本尊として**阿弥陀如来像**が多数作製  
→ 仏師〔23 **定朝**〕が〔24 **寄木造**〕の技法を完成させ、  
仏像制作の大量需要にこたえる
- 阿弥陀仏**が地上に迎えにくる様子を描いた〔25 **来迎図**〕も盛行

### ③さまざまな信仰

- ケガレの観念が肥大化し、死や出産・血を忌む思想が広まる
- 〔26 **御霊信仰**〕が広まり、北野神社や祇園社で御霊会が開催
- 〔27 **陰陽道**〕が盛んになり、**物忌**や**方違**などがおこなわれる  
→ 陰陽師〔28 **安倍晴明**〕の活躍…政治にも深く関与

## 【貴族・民衆の生活】

### ①貴族の生活

- 正装：男性＝〔29 **束帯**・**衣冠**〕、女性＝**女房装束**＝〔30 **十二単**〕
- 普段着：男性は直衣・狩衣、女性は小袷・袴を着用
- 食事：一日二食、米を常食とし、ケガレ観の影響で肉食の禁忌化が進行
- 成人式：12～16歳ごろに、男子＝〔31 **元服**〕、女子＝**裳着**
- さまざまな〔32 **年中行事**〕が発達～1年間を通じて～  
→ 新嘗祭・大祓・賀茂祭・祇園御霊会（神事）  
灌仏・盂蘭盆会（仏事）  
ひな祭・〔33 **七夕**〕・相撲（遊興）  
節会・叙位・除目（政務） など

### ②民衆の生活

- 衣服：男性は水干や上衣に小袴、女性は小袖に腰衣を着用
- 食事：一日二食、米・麦・粟・稗・蕎麦・粟などを常食